

リフォーム前



石綿スレート

リフォーム後



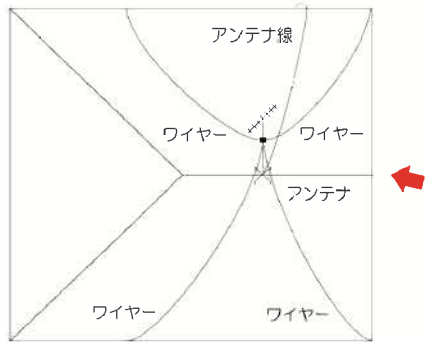
軽量断熱シラス大判瓦 石娘 S-24



石綿スレート
撤去作業の様子



リフォーム前平面図

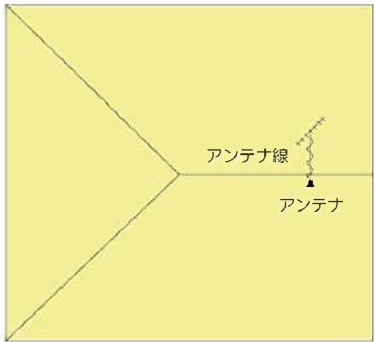


既存：石綿スレート

設計施工のポイント（増改築等の工夫）

- ① 石綿スレートの撤去には、釘抜時に発生する飛散石綿を専用機器で吸引除去する安全な工法「シールドサクション工法」を採用。
- ② 石綿スレート屋根の改修には、耐荷重の制限で軽量の屋根材が必要。そこで軽量性に優れた環境に優しいシラス瓦を使用。
家屋への負担が少なく、屋根の景観がスレート屋根にない立体的で重厚な趣があり、お施主様からも非常に喜ばれている。
- ③ 既存のスレート屋根は、野地板との空気層がほとんど無いため湿気がこもりやすく熱を住宅内部に伝えやすい。シラス瓦は断熱性にも優れており、さらに立体構造による通気性の向上で結露が発生しにくい屋根を実現。
- ④ 屋根改修工事に伴う足場設置を利用した外壁リフォーム（壁のつなぎ目や窓枠の防水処理・外壁塗装）を行う。

リフォーム後平面図



施工：シラス大判瓦

既存のテレビアンテナは、屋根材の上に土台を置き4方向からワイヤーで固定してあった。本工事では耐風性と建物の美観を考慮し、アンテナポールを用いてアンテナ線を屋内に通した。

応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	リフォーム 内容	
瀬戸口 和徳	瀬戸口 和徳	(有)瀬戸口屋根工業	17年	ツーバイ フォー	戸 建	平成23年6月	30日間	172万円	石綿スレート屋根の改修工事、外壁リフォーム	